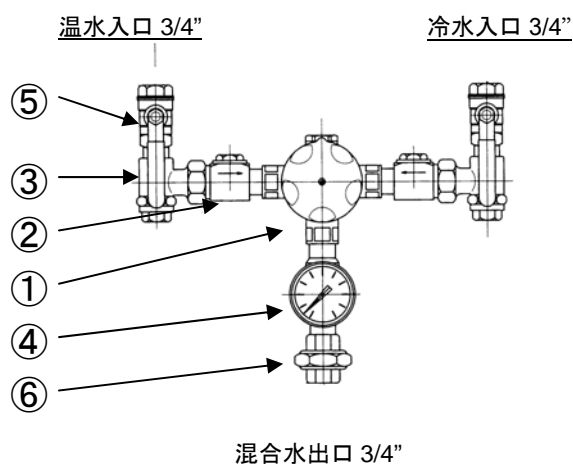


レオナード グループシャワー元制御用サーモスタット GUS-320 型取扱い説明書

■概要

グループシャワー元制御用サーモスタット GUS-320 型は温水と冷水を混合して適温水を製造し、多数のシャワーや手洗い水栓に供給するための Rada サーモスタットミキシングバルブユニットです。

■各部名称



6	ユニオン
5	ボール弁
4	温度計
3	ストレーナー
2	逆止弁
1	RADA ミキシングバルブ
符号	名 称

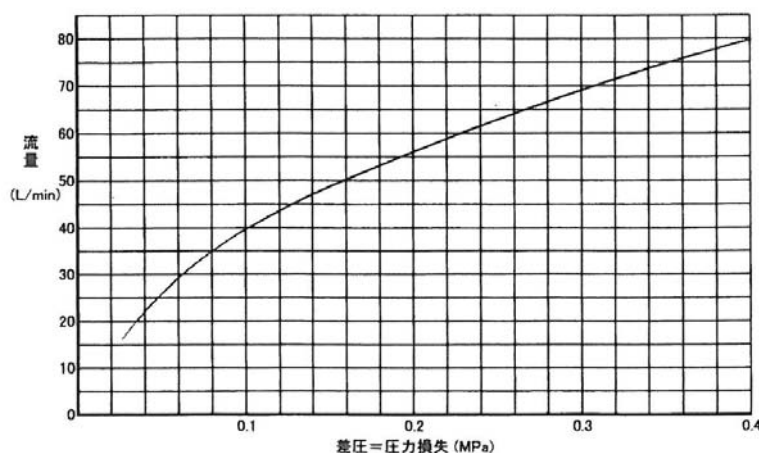
■仕様

	GUS-320
最大流量(L/min)	120
最小流量(L/min)	6
最大静止時圧力(MPa)	1.0
最大使用差圧(MPa)	0.56
最小使用差圧(MPa)	0.01
給水/給湯圧力比	1 : 1(等圧)
最適温調範囲(°C)	30~50
最高給湯温度(°C)	85
最低給水温度(°C)	1
出湯温度と給湯、給水 各々の必要温度差(°C)	15~35

■流量

流量表を参照下さい。(流量表は給湯圧力、給水圧力が等しく、混合水温度が給湯温度と給水温度の中間程度で出口開放時(背圧ゼロ)における出湯量です)

流量



■注意事項

- ・ 1日の使用時間は1～6時間程度を標準使用時間としています。
- ・ 水道水又は飲料に可能な井戸水をご使用下さい。温泉水はご使用になれません。
- ・ 給湯、給水圧力は同圧でご使用下さい。
- ・ 出湯温度と給湯、給水温度の差が15℃以下になると温調特性が低下し始めます。

■設置方法

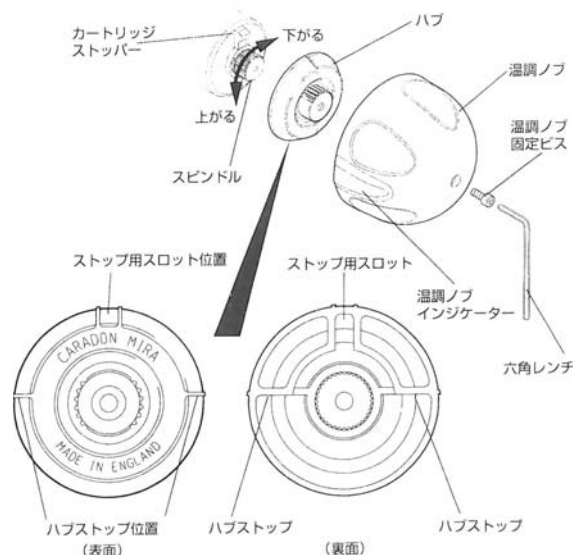
- ・ 取付け中は、ケガや製品の破損のないように充分注意して下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットは、使用やメンテンスの行いやすい場所に設置して下さい。
- ・ メンテナンスの為に、仕切弁を適切な場所に必ず取付けて下さい。
- ・ 漏水の可能性があるので、防水・排水の設備のある箇所に取付けて下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを取り付ける前に配管のフラッシングを十分に行いゴミ等を取り除いて下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを垂直に取付け下さい。水平に取付けられると温調が正しく制御できません。

■使用方法

- ・給湯,給水が所定の圧力、温度で供給されているか確認して下さい。
- ・ユニットの給水,給湯の元バルブ（ボールバルブ）を開いて下さい。
- ・温水使用箇所で温水を使用されると、ミキシングバルブで調温された温水が製造され、適温水が吐出します。
- ・温水（混合水）温度を上げるときにはミキシングバルブの温調ノブを反時計方向（左回し）に、下げるときは時計方向（右回し）に回して下さい。
温水出口の温度計を見ながら行って下さい。

■最高出湯温度の設定

- ・ミキシングバルブユニットに十分な給湯が行われているか、チェックして下さい。
給湯温度は必要な出湯温度より少なくとも15℃高いことが必要です。



- ①温調ノブ固定ビスを付属の3mmの六角レンチで外して、温調ノブを引き抜いて外して下さい。
- ②ハブを外して下さい。
(温調ノブについて外れる場合がありますので、ハブ外して下さい。)
- ③必要な最高出湯温度が得られるまでスピンドルをゆっくり回して下さい。
(時計方向で出湯温度は下がり、反時計方向で出湯温度は上がります。)
もし回しにくくなった場合それ以上回さないで下さい、内部部品の破損につながります。
- ④必要な最高出湯温度が得られましたら、カートリッジの表のストッパーにハブ裏側のストッパーが当たってそれ以上反時計方向に回らない位置でハブをスピンドルに差し込んで下さい。

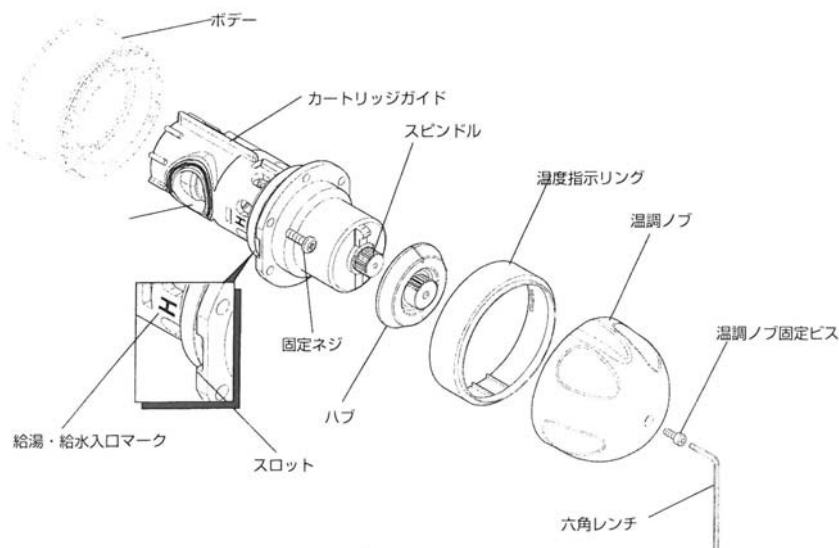
⑤温調ノブのインジケーターが時計の9時の短針の位置に来るように温調ノブを再度取付けて下さい。

■メンテナンス

- ・ ミキシングバルブはフルカートリッジ式ですので、故障の場合はカートリッジを新替して頂くことになります。

＜サーモカートリッジ取り外し＞

- ①ミキシングバルブへの給湯・給水を止め、出口を開いて中に残った水を出して下さい。
- ②3mmの六角レンチを使って温調ノブ固定ネジを外し、温調ノブ、表示リング並びにハブを外して下さい。
- ③カートリッジアッセンブリーのボディーに固定している6本のネジを外して下さい。
- ④カートリッジの切り欠き部分（スロット）に適切な工具を当てがってカートリッジをボディーから浮かせて下さい。
- ⑤カートリッジアッセンブリーをボディーから抜き出して下さい。



＜サーモカートリッジ再組立＞

①ミキシングバルブボディーの内側の表面は、カートリッジを新たに取り付ける前にきれいに清掃して下さい。スケール等の付着があれば取り除いて下さい。

（注）バルブボディー内面は注意して清掃し、絶対に傷をつけないようにして下さい。

②カートリッジの清掃は、スケール溶解剤は使わないで下さい。

カートリッジそのもののメンテナンスは不可能です。分解しないで下さい。

③カートリッジの“O”リングには付属のシリコングリスを塗って下さい。

④ミキシングバルブの温水入口がどちらかを確認し、カートリッジの各々の入口にわせて下さい。

（注）カートリッジには“H”並びに“C”のマークが付いています。

“H”の方が給湯入口に“C”の方が給水入口になるようにして下さい。（上記図参照）

⑤カートリッジガイドをボディーの溝に合わせてカートリッジの2本”Oリングが外れないように注意深くボディーに押し込んで下さい。

⑥6本のネジを締め付けて下さい。

⑦温度表示リングを取り付けて下さい。

⑧メンテナンスバルブを徐々に開けミキシングバルブに水を供給し漏れがないか確認して下さい。

⑨ハブを取り付ける際は、「最高出湯温度の設定」が必要です。「最高出湯温度の設定」の項を参照して下さい。

⑩温調ノブを取付け固定ネジで固定して下さい。

- ・ 逆止弁のシートに異物が付着したり、シートが破損した場合逆止弁は正常に働かなくなり、逆流を起こしてしまいます。

ミキシングバルブの給水入口の逆止弁の入口側が熱かったり、逆に給湯入口の逆止弁の入口側が冷たかったりする場合は逆流していると考えられます。

その場合は逆止弁のメンテナンスが必要です。

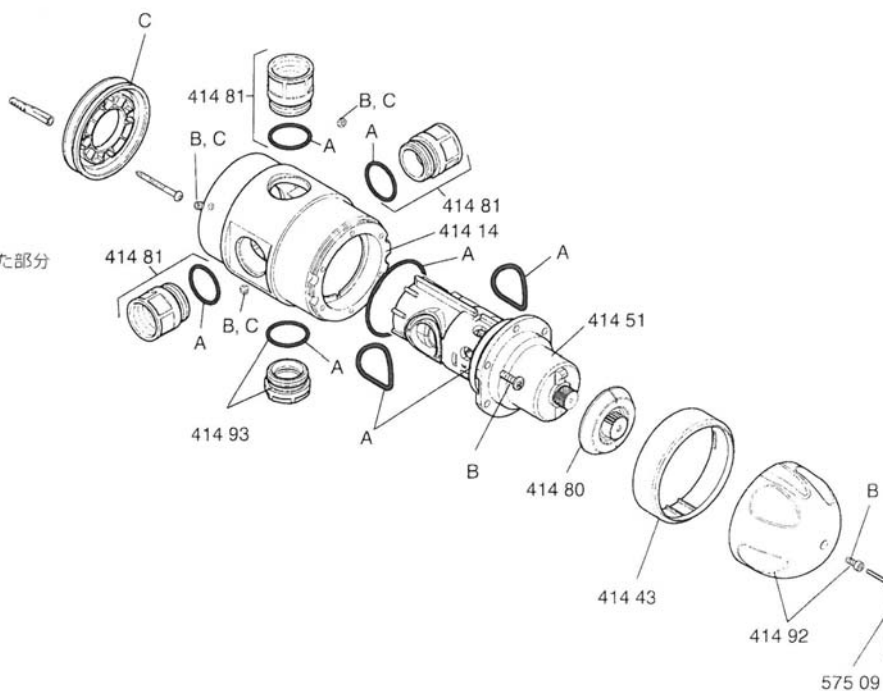
メンテメンテは下記の方法で行って下さい。

1. 給湯、給水の元バルブ（ボールバルブ）を閉じて下さい。
2. 逆止弁の頭の部分（キャップ）を外し、中の弁体（ケレップ）を取出し、シート面をチェックして下さい。又、ケレップの当り面（テフロン製）もチェックして下さい。各々付着物が付いていれば清掃して下さい。

3. 逆止弁のシート面にキズが入っていたら、逆止弁を交換することが必要です。
又、ケレップのテフロン面が損傷している場合はテフロンシートを交換することが必要です。

320 cf 部品リスト

- 414 14 ボデー
- 414 43 温度指示リング
- 414 51 カートリッジアセンブリー
- 414 80 ハブバック
- 414 81 アダプター (メスネジ)
- 414 84 シールバック "A" で示された部分
- 414 85 ネジバック "B" で示された部分
- 414 86 バックプレートキット "C" で示された部分
- 414 92 温調ノブバック
- 575 09 3mm六角レンチ



■メンテに関する連絡先

株式会社日本レオナード商会

大阪府豊中市浜2丁目 10-3

TEL : 06-6336-0321

フリーダイヤル : 0120-71-0321